

桔梗が丘自治連合協議会
平成28年度 第9回 自治連合会 議事録

場 所	桔梗が丘市民センター 大会議室	
日 時	平成29年3月18日(土) 19:00~22:00	
出席者 (28名)	代表幹事、自治会長・区長：24名 大垣総務委員長 (事務局) 廣岡事務局長、松岡事務局次長	(記録) 松岡
事項書議題	<p>【決議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 空家等流通活性化促進事業地域指定受諾について ➤ 協議会規約改訂について ➤ 小・中学校統廃合等後期計画検討に対する対策機関設置について ➤ 平成29年度事業計画（案）について ➤ 平成29年度定時総会開催日について <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 協議会事務職員の職務体制について ➤ 小・中学校の規模・配置の適正化実施計画の状況について ➤ H29年度名張市からの予算決定について ➤ 桔梗が丘小学校区放課後児童クラブについて ➤ 「子どもの貧困見守り支援のポイント」リーフレットについて ➤ 消防団桔梗が丘班各戸配布について ➤ 第5回地域づくり代表者会議報告 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ・生活安全協議会委員の推薦 ・地域づくり代表者会議実践交流会参加 ・各区・自治会等総会資料印刷持ち込み 等 	
➤ 空家等流通活性化促進事業地域指定受諾について	<p><辻森代表幹事></p> <p>名張市では約3年ほど前から空き家の適正な管理、地域活性化の観点から有効活用を図るなどの施策を展開してきた。昨年、国交省の「先駆的空き家対策モデル事業」の提案に応募し名張市が採択された。名張市ではそれを受けて若年層の移住・定住促進につながる施策を展開することで空き家の活用促進を図っていきたいということから審議委員会を設置して3つの観点からモデル地域を選定した。桔梗が丘が「住宅開発地」という観点からモデルの指定を受けることになった。自治連合会としては、“対策委員会（仮）”を設置してこの事業に積極的に協力したいと思っているので意見を伺いたい。</p> <p><名張市営繕住宅室></p> <p>名張市においては、空き家を利用した若年層の移住・定住促進につながる施策を展開することによって空き家の活用促進を図っていきたいと考えており、ご協力願いた</p>	

	<p>い。地域として桔梗が丘地区を指定させていただきたい。選定の基準としては既存市街地から名張地区、住宅開発地から桔梗が丘地区、農村・山間集落から赤目地区と異なるタイプからそれぞれモデル1つということで選んだ。</p> <p>(資料：名張全域図（空き家率記載）、「空家等活用促進地域とは」、etc)</p>
<意見交換>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の統配合等の問題が決着を見ていない状況下で若者の定住が期待できるのか、企業の誘致等働き口の確保が先なのではないか。 ・ 名張は産業が少ない、企業を誘致することの方が先ではないか。 ・ 働く場所を作ることが先、20～30年前の高度成長時代は戸建て住宅を求めて都会から遠くても桔梗が丘の街に出てきた。今や若い人たちには職を求めて都会に出て行って帰ってこない。 ・ 土地の需要がなく地価が下がっている。若者は地価や生活環境面を考慮している。 ・ “空き家”的定義は？　個人情報なので情報提供がほしい。 ・ 市役所内に専従職員が必要ではないか。 ・ 桔梗が丘地域活性化のためにはよいと思うが、このままでは内容がわからない。名張市が若者の移住定住のためにどのような取組みをしていくのか、はっきり指針を示してほしい。地域に丸投げというのではやっていけない。市役所主導の下で取り組めるようアウトラインを示してくれねば桔梗が丘地域として何をやればいいのかわからない。組織を作った場合は必ず市の職員が参加する。計画も出していただくなど方向付けを先ず出してほしい。
<辻森代表幹事>	<p>空き家の斡旋だけではない。道路関係、通勤・通学関係、学校問題の関係、それらがからみ、その中で若者の移住・定住に向け地域コミュニティがどのような対策をとるべきかがわかつてくる。</p>
<名張市営繕住宅室>	<p>質問の“空き家の定義”とは、使っていない家ということだが1年に1度ぐらい風通しに来る程度では空き家と認定することになっている。</p> <p>桔梗が丘地域には倒壊寸前といったような家は殆んど見当たらないが、すでに50年も経っている家だと10年経てば築60年ということになるのでそのような家も管理させていただいているなど色々と取組させていただいている。出てきた空き家を管理しているだけだと、あとからあとからそのような家屋が出てくるので予防的な活動をしたい。（集会所に利用するとか）使っていると家も傷みにくいのでそのような利活用ができればと思っている。私たちも空き家のことだけを考えているわけではなく役所の中で協議会を作って色んな人に入ってきて空き家問題について協議をしているし、町内では職員間で連携もとれるようにワーキンググループを作って地域の人たちの話の中に入っている。</p> <p>今日は多くの意見をいただきました。その中で産業をということがあつたが、今の名張市で工業団地になるようなところが見当たらないし、仮にあったとしても何年もか</p>

	<p>かりそれから工場ということになると遠い先の話になる。それで何もしないとなると 10 年後の空き家率は表の通りになる可能性が高い。どんな内容をしたらいいのかということになると、桔梗が丘より少しあとに開発されたつつじが丘は（桔梗が丘に比べ）空き家率が低い。なぜ買い物にも便利、国道もあってという桔梗が丘は空き家率が高いのか。不動産屋の目から見ると地価が高い、1 区画の面積が広いとかがある。色々なことが話し合いで出てくると思っている。近大の先生が分析の中で数値だけではなく地域活動などの地域性のことの大切と言っていた。名張市から取り組みに協力していただく形より何をどのように取り組んでいったらよいかを地域で考えてもらって、それに対して市は何ができるか（例えば お金がいるのなら補助金を探すとか）進める方がよいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名張市全体の人口が減っている。つつじが丘と比べ桔梗が丘は空き家率が高いというが歴史が違う。桔梗が丘は既に 1 世代が終わっている。つまりところ、周りに魅力がないということ。名張市で魅力ある町づくりをしないといけない。 ・ 市が進める若者の移住・定住の取組みは必要と思うが、現状では一方で小学校の統廃合で学校までの距離が遠くなる地域が出て、桔梗が丘に引っ越そうと思っていた他地域の人が、敬遠するケースが出てきている。 スクールバスを走らせるとか、市の中で連携をとって問題を解決するような対策を考える等見えるようして不安を解消するような情報がほしい。 総合的に時間をかけて話しあう必要があると思う。 <p><名張市営繕住宅室></p> <p>このような活発な議論をしていることがめざしているところ。 今後、桔梗が丘独自の地域性から問題提起していただきその中から解決策がどこにあるのか議論を進めていきたい。今後関係者各位の協力関係を強めながら事業を進めていっていただければと思っている。</p> <p><辻森代表幹事></p> <p>まさに議論はこれから。学校問題を含め、市に対して桔梗のまちづくりをどうするか形を描いて一つずつしていく。ブロック長で小委員会を作っていく等前向きに検討していく必要がある。 本日は名張市からの話しさを受けるか受けないか賛否をとりたい。</p> <p><採決></p> <p><上田副代表幹事></p> <p>市の要請に従い、市と議論を共同で進めて行くことに賛成の方、挙手をお願いします。 賛成多数で、可決されました。</p> <p>▶ 協議会規約改訂について</p> <p><大垣総務委員長></p> <p>今まで記載されていなかったのが不思議なほど、地域に密接に関わり活動されている、消防団を協議会の会員として記載する。</p>
--	--

	<p>(会員) 第7条(1)～(8)に(9)名張市消防団蔵持分断河北部桔梗が丘班を追加 協議会事務局を組織改革したことにより役職等の表記の変更。 (理事) 第27条(7)事務局長、事務局次長を(7)会計統括責任者に改定 (事務局) 第76条・2、(職務) 第77条・2,3について、「事務局長及び事務局次長」の職名を「チーフ及び会計統括責任者」に改定</p>
<採決>	<p><上田副代表幹事> この件に賛成の方、挙手をお願いします。賛成多数で、可決されました。</p>
小・中学校統廃合等後期計画検討に対する対策機関設置について	<p><辻森会長> この件については約1年間経過した。説明会に参加したり提言書も出してきたが一向に進んでいない。3月議会の一般質問で学校問題が出されたので、恐らく早急に正式な形で市教委からの動きがあると思われる。今まででは「提言委員会」という中でやつてきたが、桔梗が丘自治連合協議会として正確に表明するために審議委員会的な対策機関を設置したい。 先般の議会において、小中問題が採りあげられた。その中で校区再編成を含め市は桔高の跡地については9月末までに県に表明で動いているが、住民の代表組織である当自治連合協議会として審議機関を設け地域代表として行政と協議を進めたい。 <大垣総務委員長> これから立ち上げる委員会は、ベースになるのが“提言委員会”と思っている。住民の皆さんのご了解のもと提言委員会は1年間いろいろやってきてその役割は一応終わったと思っている。3月の議会ではスピード感を持ってと言っているので早々の議論が予想される。そこで、桔梗が丘地域の代表としてきっちりとした組織を立ち上げ、桔梗が丘全体の代表として交渉にあたりたい。 本日皆さんの賛同を得られれば、総会において住民の代表である評議員の皆さんに説明、賛同を得たい。その上できっちりと組織化して地域の代表としての位置づけでこの問題に対応していきたいと思っています。</p>
<採決>	<p><上田副代表幹事> この件に賛成の方、挙手をお願いします。賛成多数で、可決されました。</p>
平成29年度事業計画（案）について	<p><大垣総務委員長> 各委員会及び部会の事業計画素案を若干の手直しが入るという前提で報告をします。 総務委員会：概ね昨年通りですが、昨年度まで“健康推進部”でみていた「敬老の日の行事」として配っていた記念品を“総務委員会”の方で担当することにしました。 企画運営委員会：概ね昨年通りですが、地域ビジョンの推進、支援に益々力を入れていく。特にききよう農楽園事業に関しましては6次産業化による商品の試作、開発に入っていきます。そしてお助けセンターでは4月</p>

から配食支援が新しい形でスタートするのでその支援に力を入れようということです。それから昨年好評でしたほっとまちフェスタの開催を早い段階から進めていきたい。

広報委員会：ききょう通信の発行を昨年より1回増やして9回にする

健康推進部会：昨年と同様に活発な活動をしていこうと企画しています。ききょう健康まつりは、昨年同様に企画運営委員会のほっとまちフェスタの中に組み込んだかたちで盛り上げようと思っています。それから色々とご意見のあった夏休みの体操会ですが、29年度も補助事業として補助金をだしていきたいと思っています。その他、市の集団検診については皆さんのが利用も多いということもあり、市からの委託金がいただけたということもあって続けたいと考えています。

教育文化部会：桔「ずセミナー、こころの思い発表会、ふるさと歴史ハイキング等昨年と同様に行わせていただきます。

生活安全部会：普通救命講習会、防犯パトロールなど。そして災害に備えた消火栓ホース格納箱の設置を4か所に考えています。これによって例年より予算が多くなりますが、出来るだけこの案を尊重したいと思っています。

快適環境部会：環境活動として公園美化運動、花いっぱい運動では昨年に引き続きキキョウの花やその他の花を一杯植えていただきたい。そして名張市のクリーン大作戦に参加するとともに各自治会の同活動を奨励補助します。また28年度から始めた地域の自然を楽しみながらの環境を知る活動も積極的にやっていただこうと思っています。新しい取り組みとして「子どもたちと地域の絆づくり事業」との連携で南小学校児童の自然体験学習としてハイキングも企画しています。

地域福祉部会：民生委員の方が中心の活動ですが、例年のように高齢者、障がい者への友愛訪問、年末友愛訪問、高齢者のつどい 等々 やっていただきます。

続いて、“ほっとまち”プロジェクト事業計画及び特別会計予算のについてご説明させていただきます。

➤ ほっとまち茶房ききょう事業：

予算的にはH28年度、順調に推移していると聞いています。H29年度は歌声喫茶の毎月一回開催、他の事業や行事との協賛や出店を考えています。

➤ 子どもたちと地域の絆づくり事業：

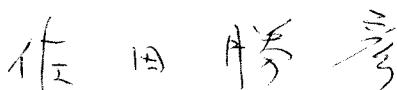
28年度に続き「通学路花いっぱい運動」を中心として、今年は快適環境部会との共同企画の南小学校児童を対象にした自然体験学習事業を進めたいとのこと。

➤ みどり環境整備保全事業

桔梗が丘地内の自然緑地の保全管理。桔梗の森公園（10号公園）については市からの清掃委託を受け作業を実施する。28年度に市から請け負っていた除草の委託作業については危険が伴うため辞退した。それに替えて「みえ森と緑の県民税市町交

	<p>付金活用事業」の採択を受けて桔梗が丘地内を中心にみどり環境の整備と保全を図っていきたい。</p> <p>➤ ききょう農楽園事業 ききょう農楽園の安全な農産物を使った加工品の開発に本腰を入れたい。</p> <p>➤ 桔梗が丘お助けセンター事業 3支援サービス（家事支援、外出支援、（新）配食サービス）を総合的に管理運営するため、事務局移設、システム導入など運営管理体制を整備する。</p> <p>➤ 市民センター事業計画 学級・教室で廃止されるのが「パソコン教室」「漢字学入門」「料理教室」「世界史講座」。新たに採用されたのが「俳句入門教室」「骨盤調整ストレッチ＆イスヨガ」となった。 今後は、開催内容の早目の検討をしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表記の統一等指摘 ・市民センターのセミナーの廃止、継続基準はどのようにになっているのか
<意見交換>	<p><大垣総務委員長></p> <p>市民センターのセミナー選択に関しては今まで協議会はノータッチできた。 今後は、協議会も積極的に関わっていきたいと思っている。 また、セミナーの廃止、継続基準については、次回の会議でセンター長から説明させていただきます。</p> <p><辻森代表幹事></p> <p>来年度からは10月11月頃から計画にあたり、プロジェクトの「ききょう農楽園」と市民センターのセミナーである「農を楽しむ」など類似したものを一つにするようなことを検討していきたいと思っているので皆さんのご協力を願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内表示板の補充製作について、今後もやるのかやらないのか
<採決>	<p><上田副代表幹事></p> <p>この件に賛成の方、挙手をお願いします。賛成多数で、可決されました。</p>
➤ 平成29年度定時総会開催日について	<p><大垣総務委員長></p> <p>日時：平成29年5月20日（土）13時30分～ 場所：桔梗が丘市民センター 講堂とする</p>

<採決>	<上田副代表幹事> この件に賛成の方、挙手をお願いします。賛成多数で、可決されました。
➤ 協議会事務職員の職務体制について	<辻森代表幹事> ・職員全員の氏名と職務について「辞令」、「パートタイマー労働契約書」に基づき説明
<意見交換>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働契約書に“休憩時間 1.0 h”とあるがどのような形でとつてもうつもり <辻森代表幹事・大垣総務委員長> 変則勤務でもあり、臨機応変に対応してもらうしかない。
➤ 小・中学校の規模・配置の適正化実施計画の状況について	<辻森代表幹事> 正式に協議会にはきていないが議会の中では、東小と南小は統合、桔小はそのまま、桔中は桔高の跡地に移動と議論されている。 <大垣総務委員長> 東小、南小、桔小が同じ地域内でも北中と桔中に分かれている。桔中は桔高の跡地に移動と言う中には中学校の校区の再編成も含んでの話しのように思う
➤ H29 年度名張市からの予算決定について	<大垣総務委員長> 資料「ゆめづくり協働事業」表より自治連合協議会の提案額（¥2,340,000）に対する審査決定額（¥1,000,000）及び各区に関するコミュニティ活動費について報告。
➤ 名張市青少年育成推進委員の推薦について	<廣岡事務局長> 現 7 名のうち 4 名が交代。
<意見交換>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員を受けてもらうのが非常に困難。市に確認すると「該当者がいなければそれで仕方がない」というような答えた。確認しておいてほしい。
➤ 桔梗が丘小学校区放課後児童クラブについて	<辻森代表> 桔梗が丘小学校放課後児童クラブから依頼があって、現仮設プレハブでは収容人員面で 20 名程度分不足しているので空き教室が利用出来るように自治連合協議会と連名で市長宛てに要望出した。

▶ その他の報告事項	▶ 「子どもの貧困見守り支援のポイント」リーフレットについて・・添付 ▶ 消防団桔梗が丘班各戸配付について・・添付 ▶ 第5回地域づくり代表者会議報告・・資料は事務局保管								
その他	▶ 生活安全推進協議会委員の推薦 ▶ 地域づくり代表者会議実践交流会参加要請 ▶ センター内コピー機での印刷の申込みについて ▶ 協議会事務局新設に伴う収納について ▶ 市民センターでの汚物ビニール袋の取り扱いについて								
議事録署名人の指名お願い	南3区 佐田勝彦氏 西1区 戊亥輝晃氏 にお願いした								
次回自治連合会開催について	日 時 平成29年4月15日（土）午後7時より 場 所 桔梗が丘市民センター 大会議室								
	<p>議長   議事録署名人   議事録署名人  </p>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>副会長</th> <th>副会長</th> <th>総務委員長</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	副会長	副会長	総務委員長					
副会長	副会長	総務委員長							
									